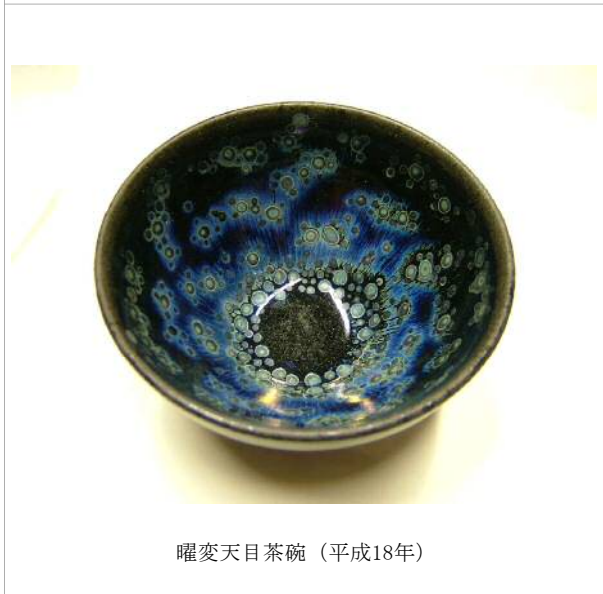


# 芸術文化選奨

受賞年度：平成30年度  
受賞区分：文化賞（個人）

氏名又は団体名	きゅうだい ながえ そうきち (ほんみょう ながえ ひでとし) 九代 長江 惣吉 (本名 長江 秀利)		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所	瀬戸市	会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要
<p>分野：陶芸</p> <p>中国の宋時代の建窯で焼かれた国宝・曜変天目の再現に取り組んでいた父8代長江惣吉を継ぎ、平成7年から曜変の研究を始める。曜変が作られた福建省の建窯を三十余回に渡って訪れると共に、陶土・原料を採掘輸入するなど、曜変の胎土と釉薬原料を突き止めるための調査、研究、制作を重ねる。その成果として、平成29年には、瀬戸市美術館において再現品に加え、作家オリジナルの「曜々盞(ようようさん)」などの展示会を開催し、多くの来場者を魅了した。また、曜変天目・瀬戸天目に関する学術論文を多数発表するなど、本県芸術文化の振興と向上に大きく貢献している。</p>



経歴・業績・近年の活動内容
<p>【略歴】</p> <p>昭和38年1月 瀬戸市に生まれる 昭和58年3月 愛知県立瀬戸窯業高等学校陶芸専攻科修了 平成9年11月 曜変の窯である建窯窯址の大路後門遺跡発掘保存事業に協力、建陽市政府より表彰 平成10年6月 九代 長江惣吉を襲名 平成30年9月 中国福建省建陽に長江惣吉作品の展示ギャラリー「曜変之路」オープン</p> <p>【近年の活動内容】</p> <p>「曜変・長江惣吉展」(瀬戸市美術館) (平成29年6月～7月) 「遙かなる曜変～九代長江惣吉」(アートサロン光玄) (平成30年3月～4月) 論文「国宝の曜変の分析研究」発表(「中国・古陶磁科学技術国際討論会」学会報) (平成30年11月)</p>